

開発途上国の行政官・研究者が 沖縄で「生物多様性保全」の様々な取り組みを学びます



経済成長にともなう水・海洋汚染の拡大、観光開発、過剰・違法漁業、自然災害や気候変動等の影響によって、沿岸部の生態系破壊や生活環境劣化の問題が生じています。多くの開発途上国では、沿岸生態系の保全やその利用を通じた地域の持続的発展を両立させる仕組みの制度構築が重要な課題です。

沖縄は、サンゴ礁やマングローブ林を始めとした沿岸性提携を主産業である観光の主軸としてきたことから、保全と開発の両立の様々な取り組みが行われてきました。各国の研修員はこうした取り組みを学んで自国に戻り、生物多様性国際目標に向けた実践を行っていきます。

プログラム名： 生物多様性国際目標に向けた沿岸・海洋生態系保全管理

期 間 ： 2023年11月6日～12月7日

研修参加国： バングラデシュ、ベリーズ、コートジボワール、エクアドル、フィジー、
インドネシア、モーリシャス、メキシコ、ミクロネシア、フィリピン、東ティモール

研修場所： 那覇市、久米島、石垣島、西表島、国頭郡 ほか

<滞在中の主な日程> *変更される場合がございますので取材については事前にご相談ください。

11/15(水)： (久米島) サンゴ種苗施設(沖縄県海洋深層水研究所内)

11/19(日)： (石垣島しらほサンゴ村) 白保日曜市、白保海岸

11/21(火)： (西表島) 仲間川マングローブ

11/27(月)： (国頭村) エコツアー、ビーチコーミング

11/28(火)： (大宜味村) 沖縄県立辺土名高等学校環境教育科 (交流事業)

11/29(水)： (恩納村) 沖縄科学技術大学院大学(OIST)

12/7(木)： 閉講式

取材をご希望の場合は、下記までご連絡下さい。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 沖縄センター 研修業務課 江口 秀夫 (えぐち ひでお)

TEL:098-876-6000(代表) FAX:098-876-6014 E-mail: Eguchi.Hideo2@jica.go.jp